



# News Release

2020年11月26日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

## 衣類や布団などの可燃物の接触到注意！ ～暖房器具による火災を防ぐ～

### 1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度の10年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、暖房器具の火災事故は、北海道で合計139件<sup>※2</sup>ありました。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を図1に示します。

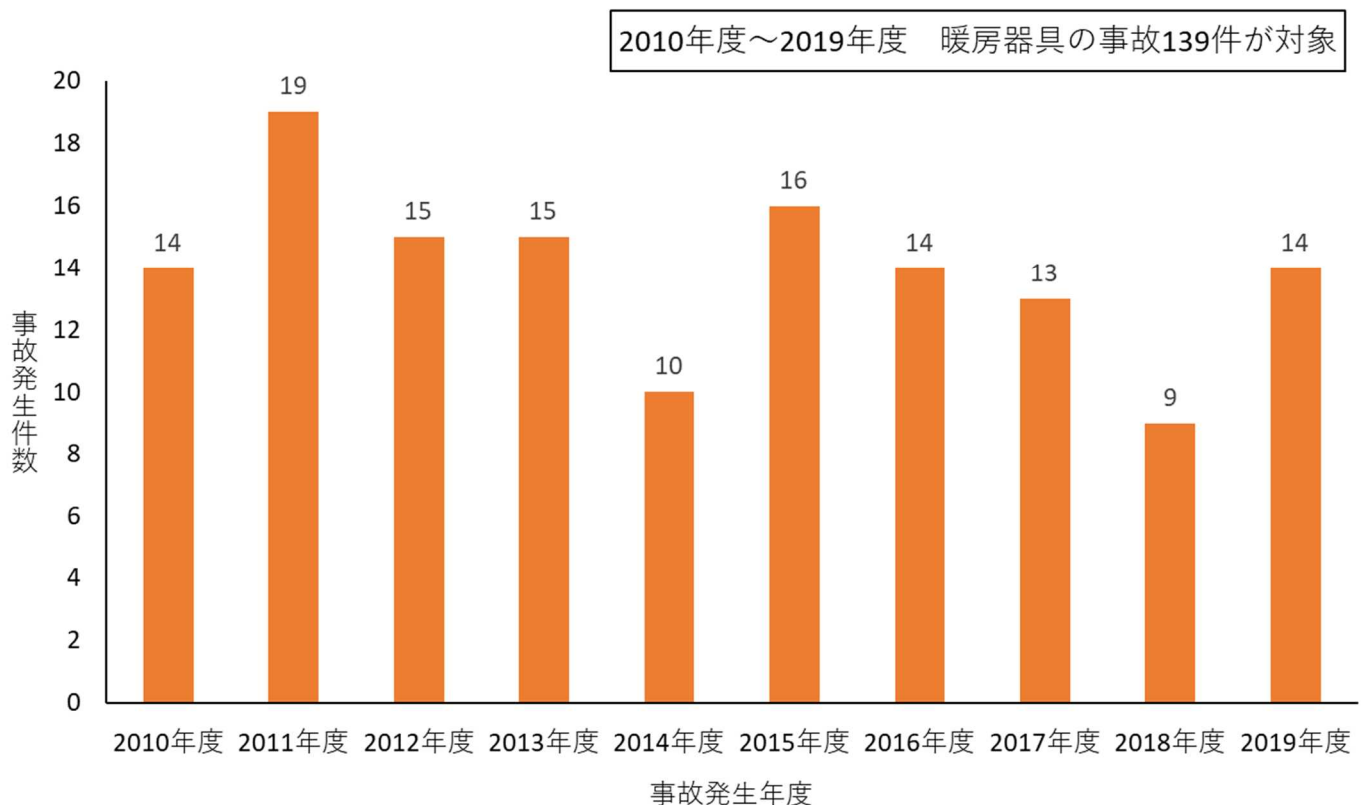


図1 年度別事故発生件数（2010～2019年度）

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を図2に示します。

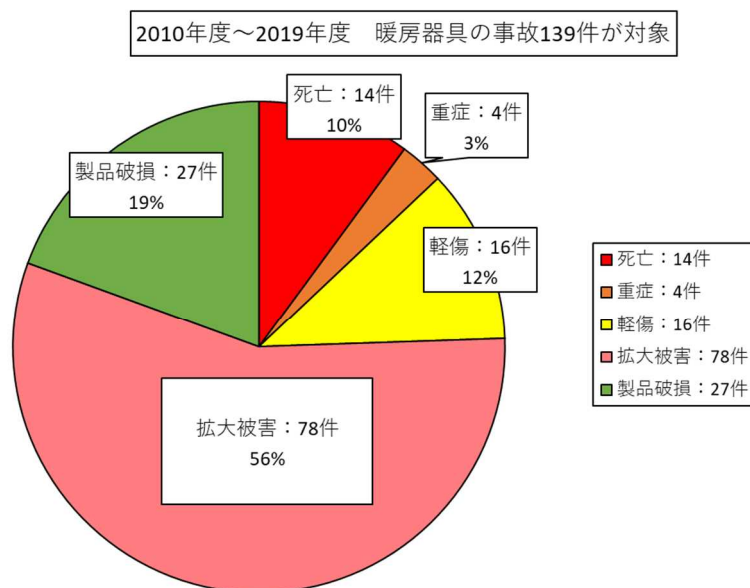


図2 被害状況別事故発生件数（2010～2019年度）※3

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) 電気ストーブ

○2018年1月（北海道、70歳代・男性、使用期間約3年、拡大被害）

事故内容：使用中の電気ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：電気ストーブの電気部品に出火の痕跡は認められず、本体上部にカレンダーの紙片が付着していたことから、電気ストーブの上にカレンダーが落下して覆ったため、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「燃えやすい物の近くで使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 石油ストーブ

○2019年12月（北海道、60歳代・男性、使用期間不明、拡大被害）

事故内容：使用中の石油ストーブから出火し、周辺を焼損した。

事故原因：石油ストーブの上に可燃物を置いた状態で石油ストーブを点火したため、可燃物が加熱されて火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「カーテンや燃えやすいものを近づけない。火災が発生するおそれがある。」旨、記載されている。

### 3. 暖房器具の事故を防ぐポイント

- ①暖房器具の周囲に可燃物などを置かない。
- ②その場を離れる時や外出時などには消す。
- ③消毒用アルコールを利用する（新型コロナウイルス感染予防のため利用する機会が多いことから）時は、アルコールは揮発性が高く、引火するおそれがあるため、石油ストーブなどの火気を伴う暖房器具の近くで使用したり、手指の消毒直後に近づけたりしない。

### 4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

#### (本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:鈴木、下川

電話:011-709-2324